

## II 本県の一般飲食店の構造

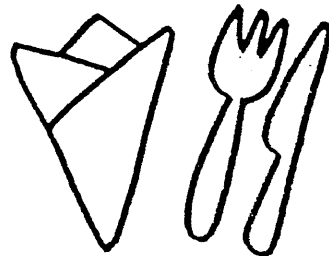
### 1. 商店数

#### (1) 従業者規模別商店数

商店数を従業者規模別にみると、従業者1～4人規模の商店が5,412店(構成比77.3%)で最も多く、次いで5～9人規模の商店が1,082店(構成比15.5%)で従業者10人未満の小規模商店が全体の約9割を占めている。しかし、従業者1～4人規模の商店については、10年前調査(昭和57年)と比べてみると9.5%減、前回調査(平成元年)より5%減と減少傾向にあり、今回調査の商店数減少の要因となっている。一方、従業者規模10人以上の中規模および大規模商店については増加傾向にあり、特に従業者20～29人規模の商店については、10年前調査(昭和57年)の約3.5倍、従業者30～49人規模、50人以上の商店についてはそれぞれ2.8倍、2.6倍と著しい伸びを示している。(表2 参照)

表2 従業者規模別の商店数(昭和57年～)、従業者規模別年間商品販売額(平成4年)

	昭和57年	昭和61年	平成元年	平成4年		各規模1店当たりの年間商品販売額(百万円)
	商店数(店)	商店数(店)	商店数(店)	商店数(店)	年間商品販売額(百万円)	
総数	7,066 〔100〕	7,183 〔100〕	7,230 〔100〕	6,999 〔100〕	154,930〔100〕	22.1
1～4人	5,977 〔84.6〕	5,959 〔83.0〕	5,708 〔78.9〕	5,412 〔77.3〕	55,986〔36.1〕	10.3
5～9人	837 〔11.8〕	894 〔12.4〕	1,077 〔14.9〕	1,082 〔15.5〕	39,144〔25.3〕	36.2
10～19人	194 〔2.7〕	239 〔3.3〕	314 〔4.3〕	324 〔4.6〕	27,174〔17.5〕	83.9
20～29人	29 〔0.4〕	49 〔0.7〕	70 〔1.0〕	102 〔1.5〕	14,392〔9.3〕	141.1
30～49人	21 〔0.3〕	33 〔0.5〕	48 〔0.7〕	58 〔0.8〕	10,042〔6.5〕	173.1
50人以上	8 〔0.1〕	9 〔0.1〕	13 〔0.2〕	21 〔0.3〕	8,192〔5.3〕	390.1



(2) 業種別商店数

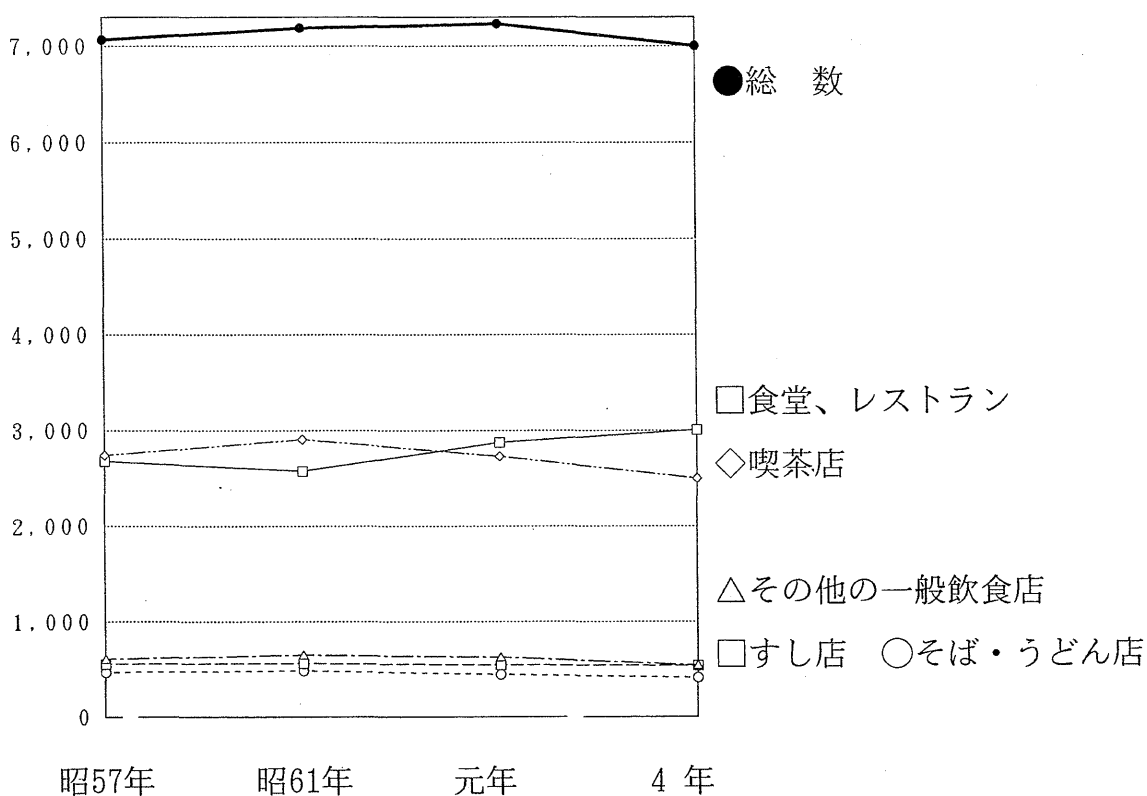
商店数 6,999店について業種別構成をみると、食堂、レストランが 43.0 % ( 3,009 店)、次いで喫茶店が 35.7 % ( 2,501 店) と多く、この 2 業種で全体の約 8 割を占めている。続いて、その他の一般飲食店が 7.7 % (541店)、すし店が 7.7%( 536 店)、そば・うどん店が 5.9%(412店) となっている。

また、前回調査(平成元年)と比較すると、食堂、レストランが 4.5%の伸びを示したほかは、そば・うどん店 7.4 %減、すし店 1.8%減、喫茶店 8.5%減、その他の一般飲食店 13.8 %減と全て減少している。(表 3、図 1 参照)

表 3 業種別の商店数

	昭和 5 7 年		昭和 6 1 年		平成 元 年		平成 4 年			
	実 数 (店)	構成比 (%)	実 数 (店)	構成比 (%)	実 数 (店)	構成比 (%)	実 数 (店)	構成比 (%)	前回比 (%)	57年比 (%)
合 計	7,066	100	7,183	100	7,230	100	6,999	100	96.8	99.1
食堂、レストラン	2,683	38.0	2,577	35.9	2,879	39.8	3,009	43.0	104.5	112.2
そば・うどん店	470	6.7	485	6.8	445	6.2	412	5.9	92.6	87.7
すし店	559	7.9	561	7.8	546	7.6	536	7.7	98.2	95.9
喫 茶 店	2,745	38.8	2,910	40.5	2,732	37.8	2,501	35.7	91.5	91.1
その他の一般飲食店	609	8.6	650	9.0	628	8.7	541	7.7	86.2	88.8

図 1 業種別商店数



## 2. 従業者数

### (1) 業種別従業者数

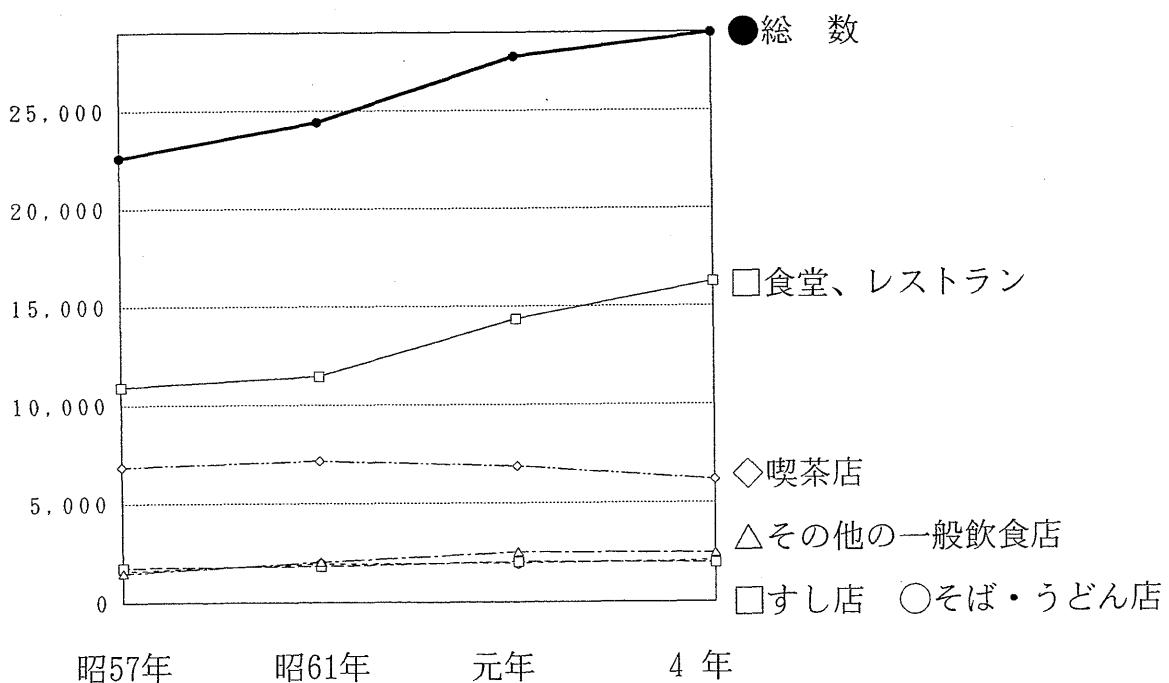
従業者 28,955 人について業種別構成をみると、食堂、レストランが 56.1 % (16,253人) で最も多く、次いで喫茶店が 21.4 % (6,182 人)、その他の一般飲食店が 8.5% (2,470 人)、そば・うどん店が 7.2% (2,076 人)、すし店が 6.8% (1,974 人) となっている。

また、前回調査 (平成元年) と比較すると、食堂、レストラン 13.3 % 増、そば・うどん店 5.7% 増と 2 業種が増加しているが、その他の業種については、すし店 3.3% 減、喫茶店 10.0 % 減、その他の一般飲食店 1.9% 減とそれぞれ減少している。(表 4、図 2、参照)

表 4 業種別の従業者数

	昭和 57 年		昭和 61 年		平成 元 年		平 成 4 年			
	実 数 (人)	構成比 (%)	実 数 (人)	構成比 (%)	実 数 (人)	構成比 (%)	実 数 (人)	構成比 (%)	前回比 (%)	57年比 (%)
合 計	22,592	100	24,403	100	27,742	100	28,955	100	104.4	128.2
食堂、レストラン	10,920	48.3	11,450	46.9	14,350	51.7	16,253	56.1	113.3	148.8
そば・うどん店	1,592	7.1	1,938	7.9	1,965	7.1	2,076	7.2	105.7	130.4
す し 店	1,749	7.7	1,820	7.5	2,041	7.4	1,974	6.8	96.7	112.9
喫 茶 店	6,848	30.3	7,153	29.3	6,869	24.8	6,182	21.4	90.0	90.3
その他の一般飲食店	1,483	6.6	2,042	8.4	2,517	9.1	2,470	8.5	98.1	166.6

図 2 業種別従業者数



### 3. 年間商品販売額

#### (1) 業種別年間商品販売額

年間商品販売額 1,549億 3,000万円について業種別構成をみると、食堂、レストランが 62.4 % (966 億円) と最も多く、次いで喫茶店が 14.1 % (218億円)、すし店が 10.2 % (157億円)、その他の一般飲食店が 6.8% (106億円)、そば・うどん店が 6.5% (101億円) となっている。

また、前回調査 (平成元年) と比較すると、食堂、レストラン 25.5 % 増、そば・うどん店 15.1 % 増、すし店 14.6 % 増と 3 業種で増加しているが、一方、喫茶店 1.5% 減、その他の一般飲食店 12.8 % 減とそれぞれ減少している。また、10 年前調査 (昭和 57 年) と比較してみると、食堂、レストランの販売額が約 2 倍 (商店数 12.2% 増) となりその伸びが著しいが、喫茶店についてはほぼ横ばいの 2.3% 増 (商店数 8.9% 減) にとどまっている。

(表 5、図 3 参照)

表 5 業種別の年間商品販売額

	昭和 57 年		昭和 61 年		平成 元 年		平 成 4 年			
	実 数 (百万)	構成比 (%)	実 数 (百万)	構成比 (%)	実 数 (百万)	構成比 (%)	実 数 (百万)	構成比 (%)	前回比 (%)	57年比 (%)
合 計	92,776	100	112,097	100	133,826	100	154,930	100	115.8	167.0
食堂、レストラン	49,056	52.9	58,996	52.6	76,982	57.5	96,635	62.4	125.5	197.0
そば・うどん店	5,420	5.8	7,875	7.0	8,784	6.6	10,110	6.5	115.1	186.5
す し 店	9,464	10.2	11,412	10.2	13,754	10.3	15,760	10.2	114.6	166.5
喫 茶 店	21,306	23.0	24,642	22.0	22,128	16.5	21,804	14.1	98.5	102.3
その他の一般飲食店	7,530	8.1	9,173	8.2	12,180	9.1	10,622	6.8	87.2	141.1

図 3 業種別年間商品販売額

